

事務事業名		簡易排水施設管理事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	整備維持グループ	課長名	内田俊行
	施策名	〈16〉下水道の整備		担当者名	安部和吉	電話番号	0854-42-3471 (内線) 4611
	目的: 対 象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。			
	基本事業名	〈046〉下水道施設の維持管理		予算科目	会計 2 5 2 0 0 1 款 大 事 業 大 事 業 名 項 目 中 事 業 中 事 業 名	簡易排水施設管理事業	
目的: 対 象	下水道接続済の市民	意図	下水道に排水できるように維持管理する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・維持管理業務委託及び処理施設の電気料、水道料、保険料等の支払い ・処理施設の故障対応及び修繕等

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動) ・掛合町松笠地区簡易排水施設の維持管理 (処理場1箇所、中継ポンプ2箇所)	元年度計画(元年度に計画する主な活動) ・同左				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	ア	業務委託契約件数	件	1	1	1	1
	イ						
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	簡易排水区域の住民	ア	処理区域内人口	人	20	22	22	22
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)		
汚水を浄化する。生活環境を改善する。	ア	汚水BOD除去率	%	94.4	96.0	94.8	96.0	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
需用費	152千円	事業費	国庫支出金	千円				
役務費	77千円		県支出金	千円				
委託料	894千円		地方債	千円				
計	1,123千円		その他	千円	1,100	1,093	1,123	1,374
			一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	1,100	1,093	1,123	1,374	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2			
	延べ業務時間	時間	40	40	40			
	人件費計(B)	千円	159	163	173			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,259	1,256	1,296			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
山間地の小規模な処理施設で、人口が減少している。	適切な維持管理。	適切な維持管理。

事務事業名	簡易排水施設管理事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	適切な施設の維持管理を行っており、BOD除去率は高水準で推移しておりこれ以上の向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	汚水流入がある限り廃止・休止はできない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		近接に類似施設もないため、他の施設との統廃合はできない
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		維持管理業務を行う上で必要最小限の経費にて実施しており、これ以上の向上余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		施設の管理は、すでに委託方式をとっており人件費の削減余地はない。現在でも最低限の人員及び業務時間で業務を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		下水道使用料を賦課しているため公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
D 公平性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) ・適切な維持管理により、処理施設の運転に支障をきたさなかった。	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
E 評価 の 総 括	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
<ul style="list-style-type: none"> 今後も現在の維持管理を継承する。 簡易排水施設の使用上の注意について、今後も引き続き使用者にPRしていく必要がある。 																				